

第2回第六採択地区協議会 議事録

期 日	令和5年7月24日(月)		
場 所	和光市中央公民館 3階 視聴覚室		
開 会	午前9時00分		
閉 会	午後3時10分		
委 員	新座市教育委員会	金子 廣志	教育長
	新座市教育委員会	鈴木 松江	教育長職務代理者
	新座市教育委員会	小泉 哲也	委員
	新座市教育委員会	脇田 美保子	委員
	新座市教育委員会	宮瀧 交二	委員
	新座市保護者代表	其田 雅徳	新座市PTA連合会
	志木市教育委員会	柚木 博	教育長
	志木市教育委員会	八代 豊	教育長職務代理者
	志木市教育委員会	岩澤 千恵子	委員
	志木市教育委員会	上野 幸子	委員
	志木市教育委員会	飯田 昌利	委員
	志木市保護者代表	久保 大地	志木市PTA連合会
事 務 局	新座市教育委員会	山崎 孝雄	参事兼教育支援課長
	新座市教育委員会	吉田 泰生	教育支援課教育支援係長
	志木市教育委員会	島村 直人	教育政策部次長兼学校教育課長
	志木市教育委員会	金子 博一	学校教育課指導主事

令和5年度第2回第六採択地区協議会（令和5年7月24日（月）開催）

和光市中央公民館 3階 視聴覚室

1 開会の言葉

司 会（新座市教育委員会教育支援課長）

- ・第2回第六採択地区協議会を開会する。

2 挨拶（第六採択地区協議会長・新座市教育委員会教育長）

会 長

- ・ただいまより、令和5年度第2回の採択協議会を開催する。
- ・それぞれの教科の説明があり、採択に関する資料が提示されると思う。
- ・各教育委員会で十分に吟味し、最適な教科書を採択できるよう進めてまいりたい。

3 事務局からの連絡

司 会

- ・事務局から本日の日程等について連絡する。

事務局

- ・議事の報告に続いて、調査員の調査研究結果の報告と質疑応答を行う。
その後、協議に入る。

司 会

- ・ここからは、第六採択地区協議会規約の第十条第2項により会長に議長をお願いする。

4 議事

議 長

- ・採択に係る情報の積極的な公開が求められていることから、議事録作成のため録音し、記録作成が済んだら消去することによろしいか。

委 員

- ・異議なし。

議 長

- ・議事録の署名委員については、新座市教育委員会 鈴木 松江 教育長職務代理人、志木市教育委員会 八代 豊 教育長職務代理人、としてよろしいか。

委 員

- ・異議なし。

議 長

- ・本日の協議会は公開とするが、協議及び採択については、静謐な環境を保つため非公開としてよいか。第六採択地区協議会規約第十四条に「出席した委員の3分の2以上の多数で議決した時は非公開とする。」とあるので、協議及び採択について非公開とすることに賛成の委員の挙手を求める。

委 員

（全員挙手）

- 議 長 ・協議及び採択については非公開とする。
- 議 長 ・事務局から提案がある。
- 事務局 ・教科書（案）の決定については、展示会アンケートや各学校からの調査研究結果も考慮し、調査員の調査研究結果の報告をもとに第六採択地区協議会規約第十一条に従い協議し、決定したい。お諮りいただきたい。
- 議 長 ・事務局の提案について、いかがか。
- 委 員 ・異議なし。
- 議 長 ・協議の細かい点については、第六採択地区協議会規約第十一条に従って協議の時に確認することとする。事務局より報告願う。

（１）報告

- 事務局 ・令和5年6月28日（水）から7月13日（木）まで、新座市立中央公民館で開催された教科書展示会には、のべ500名が来館した。
- 事務局 ・アンケートの回答内容については、教科書の内容に関するもの、会場運営に関するもの等がある。記入者は、保護者、一般の方、教員等である。また、各学校からの調査研究のまとめについて、委員に渡してあるので、協議の際の参考としてほしい。
- 議 長 ・質問はあるか
- 委 員 ・ない。

（２）調査員の調査研究結果の報告と質疑応答

- 議 長 ・調査員の調査研究結果の報告と質疑応答に入る。
- 議 長 ・社会・地図の調査員代表より、調査結果について報告願う。
- 調査員代表 （報告書に基づいて、社会3社、地図2社について報告する。）
- 議 長 ・質問はあるか。
- 委 員 ・教育出版について「モノクロをカラーにする」ということが意欲付けにどうつながるのか。カラーにすることで教員が何を気付かせたいかについては、教員によってバラつきがでるのではないか。
- 調査員代表 ・子どもたちの表情など鮮明で分かりやすい。当時の衣食住や子どもたちの生活の様子などについて授業で話し合うので、カラーの方が分かりやすいと思う。
- 委 員 ・QRコードについて、現在の現場で十分に生かされていると見ているか。

- 調査員代表 ・そこまでは活用できていないと思うが、映し出せたり意見が共有できたりする便利さがあり、これらを活用しない手はない。少しずつ便利さが分かっていくと思う。
- 委員 ・3社を探究の視点から見たときにどうか。
- 調査員代表 ・導入でQRコードでの動画を使っているのは、東京書籍である。社会科の指導が苦手な先生にとっては、一つの武器になると思う。
- 委員 ・実際に45分の授業の中で、QRコードの資料をどのくらい使うことを想定しているものなのか。
- 調査員代表 ・4、5分かもしれないが、調べる学習では個々でQRコードを使って調べられることもできる。
- 委員 ・キャラクターも多いと感じた。一方で、先生方が指導をする際に邪魔ではないかと感じたがどうか。
- 調査員代表 ・説明をしすぎると、邪魔になってしまう。見方・考え方を働かせて、疑問を投げかけさせるような使い方をすると、教師に代わって言える言葉でもあるので、うまく先生方が使っていくと効果的だと思う。
- 委員 ・現場の先生方とすると、QRコードの資料は、教科書を選ぶうえでウエイトが高いものなのか。
- 調査員代表 ・これを一つ一つ使ってみると、そのウエイトの高さに気づくのではないかと思う。教科書の見開きで授業を進めていこうと考える先生方には、なかなかQRコードを見て授業をするというところまで踏み込めないこともあると思う。時間はかかるが、QRコードが先生の手助けになると考えると、もっと活用されるべきであると思う。
- 議長 ・理科の調査員代表に調査結果について報告願う。
- 調査員代表 (報告書に基づいて、理科6発行者について報告する。)
- 議長 ・質問はあるか。
- 委員 ・学校図書の教科書を見てみると、実験をする前のページと実験結果のページが別々になっている。ページを開かないと結果が分からないようになっている。東京書籍の教科書は、一部、実験の結果が見開き1ページに出ているところがあり、問題はないと思うが、実験の結果が分かってしまうことはどうなのかなと思ったが、その点についてはどうか。
- 調査員代表 ・個人的な考えになってしまうことはよくないと思うが、教科書を教えるのではなく、教科書を使いながら教えていくので、この形であっても対

	<p>処できるのではないかと思う。この形であっても仕方がないと思う。ページ数が増えていってしまう。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・大日本図書の教科書を見ていて、導入部分はゆっくり入っていると感じたが、その後から内容が突然難しくなってきた、子どもが戸惑いそうだなというイメージをもったのだが、どうか。
調査員代表	<ul style="list-style-type: none"> ・導入部分はとっつきやすくしていくために簡単にしていくということはあると思う。学習計画を立てながら、先生方の手腕にかかってくると思う。先生方の力によるところになるかと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・調査資料2「その他」のところで、教科書会社間で数字にばらつきがあるが発展的な資料、科学的な資料の数などは、実際に授業する中で、影響はあるものなのか。
調査員代表	<ul style="list-style-type: none"> ・調査委員で見えていく中でこのような数字になった。あくまで我々調査した者の捉え方である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に関することについて伺いたい。
調査員代表	<ul style="list-style-type: none"> ・どの会社も、工夫してよく作られていると思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程や系統性について、理科でのポイントはどこか。
調査員代表	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが問題解決するにあたり、「どうしてなんだろう、なぜなんだろう」という食いつきをさせるために、インパクトを残す場面をつくるなど、どの会社も工夫されて作られていると思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・系統性が気になっている。例えば、実験について各学年の発達段階に応じて工夫されているものはあるか伺いたい。
調査員代表	<ul style="list-style-type: none"> ・どの会社もよくやっていると思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・自然科学というものはもっと魅力を伝えてほしいなど思っている。教科書を見たが、結果を出すのが早いなど感じる教科書が割と多かったと思う。自然科学のプロセスをちゃんと伝えてくれている教科書があるか伺いたい。
調査員代表	<ul style="list-style-type: none"> ・どの教科書というのは何とも言えないが、理科の楽しさというのは、なんで、どうして、それに対して疑問をもっていくことであり、まさにその通りだと思う。一番大事なのは、理科は「実体験」であると思う。教科書を使いながら、見に行けない地層などを扱っていく。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科の調査員代表に調査結果について報告願う。
調査員代表	<p>(報告書に基づいて、家庭科2発行者について報告する。)</p>

- 委員 ・東京書籍は全体の見通しをもたせる点、開隆堂は実習過程の内容がそれぞれ充実していると感じた。どちらの方が指導しやすいのか。
- 調査員代表 ・家庭科は、実践的・体験的な活動を通して学ぶ教科である。その中で、「みんなの課題って何なんだろうね。」と問うなど、どういう課題をもって学習を行うのかが分かりやすいのは東京書籍であると思い、報告書に書かせてもらった。また、実習で実際に体験することも大切であり、教科書を見ながら学習をすることを考えると、開隆堂の写真の見やすさもよいと思う。教師としては、どちらも重要であると思う。
- 委員 ・食の部分を知ってもらいたい。調理実習を通じた学習は、実際に子どもたちにどのような影響を与えるか。
- 調査員代表 ・包丁の扱わせ方や皮の剥き方、野菜の切り方など、家庭でしていることには違いがある。自分だったらどれならできそうかと考え、安全な方法を自分で選ぶことも大事である。家庭科の教科書を家で一緒に見て調理することも考えられる。基礎基本をしっかり身に付けさせることは大事であると思う。
- 議長 ・国語・書写の調査員代表に調査結果の報告を願う。
- 調査員代表 (報告書に基づいて、国語3発行者、書写3発行者について報告する。)
- 議長 ・質問はあるか。
- 委員 ・報告書資料にある領域別教材数に違いがあるが、学習計画を立てる上で問題はあるのか。
- 調査員代表 ・総量として各社とも十分に教材はある。調査員の数え方の違いであると思う。その点について大きな差は感じていない。
- 委員 ・教材が切り替わった場合、教員は対応できるのか。
- 調査員代表 ・同じ教材であっても、学び方は変わっていると考える。その点においては、再度研究し直さないといけないことは同じである。
- 委員 ・国語科を通してリーディングスキルを高めることが求められる。イメージ豊かに行間を読み取ること、心情を読み取ることでなく、正確に読み取ることも大事であると考えますが、その点についてどうか。
- 調査員代表 ・その点について、各社に大きな差は感じない。
- 委員 ・どの教科の学習もコロナ禍による影響を受けていると思うが、国語科でもコロナ禍の影響により、今まで教材研究を積み重ねてきたものから大きく変わってしまったのか伺いたい。

- 調査員代表 ・コロナ禍というより GIGA スクール構想の影響は大きいと思う。私たちが大きく意識を変えなければならないと思う。
- 議 長 ・算数科の調査員代表に、調査結果について報告願う。
- 調査員代表 (報告書に基づいて、算数6 発行者について報告する。)
- 議 長 ・質問はあるか。
- 委 員 ・横に大きい教科書には、どんなメリットがあるか。
- 調査員代表 ・横幅があることは、見やすさや書き込みやすさなどがあると思う。
- 委 員 ・合冊のものと上下に分かれているものがあるが、教科書は必ずしも上下に分けなくてもよいものなのか。
- 調査員代表 ・合冊になっていると、既習事項を基にして考えやすいと思われる。また、1冊になっていることで、これまでに学習したことの振り返りがしやすいよさもあると思う。
- 委 員 ・啓林館は、計算問題のレベルが高いと感じたがその点についてどうか。
- 調査員代表 ・学習指導要領に則った内容であるので、問題の難しさに違いはあっても、教科書を扱うにあたっては問題ないと思ってよいと思う。
- 委 員 ・教科書は丁寧に書いてある方がよいものなのか。
- 調査員代表 ・全体的には、どの教科書も丁寧な記述がされていると思う。授業では、学習のねらいに到達させるために教師が教科書を使って指導をする。内容の丁寧さについては、どの教科書も基準はクリアされていると思う。
- 委 員 ・教科書の付録は、授業ではどの程度使用しているものなのか。
- 調査員代表 ・付録のよさは、全員が同じものを持っているということである。授業では、同一のものが使えるということがメリットである。付録は、現場では活用をしながら指導していると認識している。
- 委 員 ・「中学校の数学でこのような内容を学ぶ」という視点は大切なものなのか。
- 調査員代表 ・9年間の学びを考えたときに、今の学びが、中学校ではこういうこともつながると意識することは大事なことである。今の授業は、これから9年間の学びの中で連続しているということを知ってもらおうというのは大事な視点であると思う。
- 議 長 ・ここで、休憩とする。

- 議 長 ・再開する。
- 議 長 ・保健の調査員代表に、調査結果について報告願う。
- 調査員代表 (報告書に基づいて、保健6発行者について報告する。)
- 議 長 ・質問はあるか。
- 委 員 ・QRコードを読み取った先にある資料の内容についてどうか伺いたい。
- 調査員代表 ・前回の教科書では特に印象に残っているものはなかったが、GIGA スクール構想によって今回はどの教科書会社においても充実させていると感じられる。実験動画や子どもが普段目にしないものの資料のよさはある。果たして授業内にどれだけ見られるのかについては課題であると思うが、興味・関心のある子が家庭に戻って見ることはできる。
- 委 員 ・教科書への書き込みに加え、ワークシートがついているものがある。ワークシートは必要なものなのか伺いたい。
- 調査員代表 ・ワークシートがついていることにより、若干引き出しや選択肢を増やしていると考えてよいと思う。初任者教員や不慣れな教員も含めて全てを使いこなすことができるかについては、差異は出てくるものと思う。
- 委 員 ・インターネットについての記述に差があるように感じたが、どうか。
- 調査員代表 ・調査員は保健学習をしっかり学んできているため、調査においては若干の差はあった。ただ、それらの効果について検討した際には、大きな差は見られないのではないかという意見となった。
- 議 長 ・道徳の調査員代表に、調査結果について報告願う。
- 調査員代表 (報告書に基づいて、道徳6発行者について報告する。)
- 議 長 ・質問はあるか。
- 委 員 ・日本文教出版には道徳ノートがある。教師の力量が必要であると言われる道徳の授業では、子どもたちに考えを書かせるノートのようなものが必要になってくるのかどうか伺いたい。道徳ノートの必要性について伺いたい。
- 調査員代表 ・自身の学びを深く振り返ったり、教師にとっては、評価をしたりすることに活用ができる。今は、クロムブックを用いての記録もできるので「ノート」にこだわらなくてもできると思う。
- 委 員 ・道徳ノートがあることによって授業がしやすいという意見がある一方で授業の工夫がしにくいという意見もあるようである。どう捉えたらよいか。

- 調査員代表 ・今までは、発問がノートに入っていた。その点については様々な意見はあった。教師は指導書等を見ながら、例示通りに授業を進めていくとなると、その例示はありがたいものであったと思う。
- 委員 ・では、道徳ノートに発問が入らなくなったということは、教師の力量がより問われるということになるのか。
- 調査員代表 ・先生方が学年で相談するなどして授業を考えていくと思う。ノートの上下がフリーになっているので、「ここに何を書かせようか。」「今日はクロムブックで考えさせよう。」など相談するのだと思う。
- 委員 ・「議論する授業」がされていないのではないかと感じている。教材そのものがごもつともなもので、議論の余地がないということもあるのではないか。意図的に価値が二分したりするような教材選びなど、その視点でいうとどうか。
- 調査員代表 ・その点については、教材の工夫や話合いのさせ方を例示するなどして、どの会社も工夫していると思う。
- 委員 ・いじめの防止に関して、日本文教出版のことが報告書で取り上げられているが、分量的な割合について各社どうか伺いたい。
- 調査員代表 ・どの教科書もいじめについて重点として取り上げている。日本文教出版は、人とのかかわりを3つに分けて示している。
- 議長 ・音楽の調査員代表に、調査結果について報告願う。
- 調査員代表 (報告書に基づいて、音楽2発行者について報告する。)
- 議長 ・質問はあるか。
- 委員 ・教材の取捨選択をする基準というのはあるのか伺いたい。
- 調査員代表 ・共通教材と選択教材がある。進めやすさやその時の学年の状況なども踏まえて、教材を選択しているものと考えられる。
- 委員 ・イラストが多用されている印象を受けた。視覚が音楽に与える影響について伺いたい。
- 調査員代表 ・調査員から最も多く意見が出たのが、表紙である。教育芸術社は、表紙を見ただけでドキドキワクワクするようなものになっているという意見があった。
- 委員 ・1年生の「君が代」の解説に、尊重し合うというねらいが示されていた。1年生でも「尊重し合う」について理解できるのかという点について伺いたい。

- 調査員代表 ・ 1年生は担任の先生が音楽の授業をやるケースがほとんどであるので、生活経験を踏まえながら教師が説明していくことになると思う。
- 委員 ・ 現場では楽譜を読むことについてどう捉えているか伺いたい。
- 調査員代表 ・ 子どもの楽譜を読む力については、発達段階に応じて少しずつ付けていくものである。音楽科の場合、この採択地区では音楽専科が教えている。ただ、学校の規模によって専科教員の指導している学年に違いがある。教える側からすると、全部が音楽専科の先生ではない場合もあるとすると、難しい場合もあるのではないかなと思う。
- 議長 ・ 外国語の調査員代表に、調査結果について報告願う。
- 調査員代表 (報告書に基づいて、外国語6発行者について報告する。)
- 議長 ・ 質問はあるか。
- 委員 ・ 小学校と中学校の接続について伺いたい。
- 調査員代表 ・ 中学校の教科書では、教える内容自体が小学校とは異なっている。教科書会社は違うが、接続を考えていくことは大事であると思う。
- 委員 ・ 学んだことの連続性を意識させ、中学校での学習に期待をもたせたい。小学4年生までに外国語活動でも英語を学んでいる。中学校との接続について、調査員会で話し合われたことを伺いたい。
- 調査員代表 ・ 段階を踏んで、中学校での学習につなげていくためには、5・6年生で教科として学ぶことは重要である。
- 委員 ・ 指導する教師の力量次第で、授業にばらつきが出ることはないか。
- 調査員代表 ・ 学校には確立したカリキュラムがある。教科書の特色により、応用が利く内容になっている。
- 委員 ・ 開隆堂に「3・4年生で学習したこと」という学習を振り返る項目があるがそのような時間がとれるのか。また、振り返ることは必要なのか。
- 調査員代表 ・ 開隆堂の教科書は、3・4年生で学んだことを生かして学べるよう、ゆったりとしたスタートが行えるよう時間がとれるようになっている。
- 議長 ・ 図画工作の調査員代表に、調査結果について報告願う。
- 調査員代表 (報告書に基づいて、図画工作2発行者について報告する。)
- 議長 ・ 質問はあるか。
- 委員 ・ 開隆堂は、どう作っていったらよいか詳しく書かれている。日本文教出版は、完成作品例は色んなものが提示されているが必要最低限のヒン

	トだけが提示されているように感じた。
調査員代表	・制作するための手順について、具体的なものが載っているよさはある。色使いや工夫の仕方などを様々に取り入れた作品例を載せるよさもある。図画工作の場合、教科書は導入で使われることが非常に多い。手順を教えたあとに制作に移ることが多いので、完成例としてイメージをもたせることも効果的である。どちらの教科書にも良い部分がある。
委員	・あまり作品例を提示しすぎると、クリエイティブが阻害されるといった面も出てくると思う。
議長	・生活の調査員代表に、調査結果について報告願う。
調査員代表	(報告書に基づいて、生活6発行者について報告する。)
議長	・質問はあるか。
委員	・教師の立場からすると、教科書では身近なものを扱っていた方が授業がしやすいのか。
調査員代表	・生活科は子どもたちの生活に根差したものを題材に取り扱う中で、3年生以降の理科に関連して学習を深めていくものである。都市部ではオオバコが手に入りにくいなど、それぞれの地域性もある。教科書の中で取り上げ、詳しくはQRコードで見るなどの工夫をしている。
委員	・生活科の指導で先生方が一番大事にしていることはどのようなものか伺いたい。
調査員代表	・生活科にとって一番大切にしなければいけないことは、普段の生活に根差した中から、気づきを大切にして、引き出していくことであると思う。どの教科書も、子どもが授業をしている様子を写した写真を載せている。
委員	・生きる力を涵養するという視点で、今回の教科書はどうか。
調査員代表	・生きる力を育む点についてはどの教科書も取り入れており、今日的な内容やSDGsなどについても、どの教科書も力を入れている。
委員	・生活科の学習では、五感を使って、教科書や教室を出て学ぶことが大事であると考えている。今回の教科書の中で、子どもたちが教室から出ていくことを促すようなところはあるのか。
調査員代表	・色々な活動場面が紹介されている。公園にいってみよう、遊びにいってみようなど、どの教科書も入っている。それらを手掛かりに学べる単元が設定されている。
議長	・以上で、調査員の調査研究結果の報告を終わりにする。

<昼食・休憩>

- 議 長 ・ 午後の部を開始する。
- 議 長 ・ 協議に入る前に、進め方について諮る。
第六採択地区協議会規約第十一条に従い、協議会の会議において協議し、委員全員の一致によって、決する。協議が調わない種目があるときは、委員は、それぞれ選定すべきと考える教科用図書に投票を行い、過半数の投票を得た教科用図書を選定する。その場合において、過半数の投票を得た教科用図書がないときは、最多数の投票を得た2種類の教科用図書について投票を行い、多数を得た教科用図書を選定する。
この場合において、投票を行うべき2種類の教科用図書及び選定する教科用図書を定めるに当たり、得票数が同じときは、協議の経過を勘案し、会長がこれを決する。
- 委 員 ・ 異議なし。

(3) 協議

- 議 長 ・ 協議を行う。国語について、意見はあるか。
- 委 員 ・ 光村図書の小学1年生の教科書にある「はなのみち」が良い。想像力をかきたてる良い教材であると思う。
- 委 員 ・ 現行の教科書は、先生方にとっては使い慣れていたものであると思う。
- 委 員 ・ 光村図書の教科書は、導入のさせ方に夢があると感じる。子どもと同じ目線で作られ、紙面もゆとりあるものになっていると思う。
- 委 員 ・ 光村図書は、表紙からワクワクして手に取りたくなるものである。単元で行う言語活動が明示されているのもよい。
- 委 員 ・ 光村図書の教科書は本自体の体裁も良く、学んでみたいと思わせる工夫があり、「主体的・対話的で深い学び」ともつながると思う。
- 委 員 ・ 光村図書は定番の文学教材を扱っており、誰もが知っているものである。子どもたちが正しく読み取る「リーディングスキル」も身に付く。
- 議 長 ・ 国語については、委員全員の一致により光村図書で決定でよろしいか。
- 委 員 ・ 異議なし。
- 議 長 ・ 書写について、意見はあるか。

委員	・国語の教科書との関連から、国語と同じで光村図書が良いと考える。
議長	・書写については、委員全員の一致により光村図書に決定でよろしいか。
委員	・異議なし。
議長	・社会について、意見はあるか。
委員	・どの教科書も工夫されているが、東京書籍は上下に分けられている。特に6年は歴史と政治などで分けられている。従来通り、東京書籍が良いと考える。
委員	・東京書籍が良いと思う。教科書の中である程度学習の流れを示しており、その方が子どもたちは学びやすいのではないかと思う。
議長	・社会については、委員全員の一致により東京書籍に決定でよろしいか。
委員	・異議なし。
議長	・地図について、意見はあるか。
委員	・調査員代表者の説明を聞いて、帝国書院には QR コードを読み取って見られる資料が豊富であるので、私は帝国書院が良いと思った。
議長	・地図については、委員全員の一致により帝国書院に決定でよろしいか。
委員	・異議なし。
議長	・算数について、意見はあるか。
委員	・算数はそもそも原理であるので、数の仕組みや面白さをしっかり考えさせるという面で、啓林館が良いと考える。
委員	・想像力を育てるという点で、東京書籍が良いと思う。東京書籍だけ、タイトルで表している。啓林館もとても良いと思うが、東京書籍も良いと思う。
委員	・1年生の数の導入や繰り返し・繰り返し下がりが学びやすくなっており、楽しく学べる工夫もされている東京書籍が良いと思う。啓林館については、思考力を伸ばすという点で、学習についていけない子には難しいのではないかと思う。
委員	・東京書籍は、1年生の学習の導入部分で、何を考えさせればよいのかを分かりやすく示しているのが良いと感じた。今までと同じ、東京書籍が良いと思う。
委員	・子どもたちの気づきや思考力を伸ばす点で、啓林館の教科書はよくできていると思う。

委員	・導入での分かりやすさで見ると啓林館、使い慣れたものが良いのであれば東京書籍でも良いと思う。
議長	・これまでの協議を踏まえ、投票を行う。
議長	・投票結果を発表する。東京書籍10票、啓林館2票。
議長	・算数については、投票の結果、東京書籍に決定でよろしいか。
委員	・異議なし。
議長	・理科について、意見はあるか。
委員	・科学的な考察のプロセスの視点から、啓林館がよいと思った。仮説を立てて、丁寧に結果を急がない書き方をしているのが啓林館であると思った。
委員	・良いと思う教科書が3つある。継続性を意識したときに、無理に教科書を変えることはないのではないかと思う。
委員	・慣れているということで、教育出版が良いと思う。
委員	・読みやすい点で、教育出版を推したいと思う。
委員	・啓林館の教科書は、写真がとてもきれいだと感じた。基本的なノートの取り方などの面では、教育出版が良いと思う。
議長	・これまでの協議を踏まえ、投票を行う。
議長	・投票結果を発表する。東京書籍1票、教育出版9票、啓林館1票、無効票1票。
議長	・理科については、投票の結果、教育出版に決定でよろしいか。
委員	・異議なし。
議長	・生活科について、意見はあるか。
委員	・啓林館は、掲載している資料の価値が高いと感じる。東京書籍は、想像力を掻き立てるような教科書になっていると思う。
委員	・東京書籍は、大きなサイズで写真が豊富であり、臨場感があると感じた。児童の学習意欲を引き出すものであると思うので、東京書籍が良いと思う。
委員	・生活科は、体験的な学習、子どもの気づきや発見が大事にされる。発想を豊かに学習する時間になってほしい。
委員	・生活科は現場の先生方の力量が試される大変な教科書であると思う。現行の教科書会社でよいと思う。

議長	・これまでの協議を踏まえ、投票を行う。
議長	・投票結果を発表する。東京書籍 6 票、学校図書 1 票、光村図書 1 票、啓林館 4 票。
	・上位 2 社について、決選投票を行う。
議長	・投票結果を発表する。東京書籍 7 票、啓林館 5 票。
議長	・生活科については、投票の結果、東京書籍に決定でよろしいか。
委員	・異議なし。
議長	・音楽について、意見はあるか。
委員	・教育芸術社は、子どもたちが学習活動を楽しみながら音楽と向き合うことができるように作られていると思う。
委員	・教育芸術社の教科書は、表紙を見ることで児童がワクワクする工夫がされている。児童が楽しく音楽が学べるよう工夫されているので、教育芸術社が良いと思う。
委員	・教育芸術社が良いと思う。教育出版は難しすぎて、得意ではない子にとっては苦手意識を助長させてしまうのではないかと感じた。
議長	・音楽については、委員全員の一致により教育芸術社に決定でよろしいか。
委員	・異議なし。
議長	・図画工作について、意見はあるか。
委員	・日本文教出版の教科書は、学校で終わってしまった内容でも、家庭ですることができるのではないかと思う。開隆堂だと、学校ではできるけれども、家では難しいのではないかと思う。日本文教出版がよいと考える。
委員	・使う材料などを細かく書いてあるのは、開隆堂の教科書だと思う。また、子どもが作りやすく、やりやすいという意見もあった。だが、それをやりすぎてしまうと、想像力や思考力などが高まらないのではないか。想像力や思考力の面から考えると、日本文教出版が良いと思う。
委員	・具体的な作品例が豊富に出ている日本文教出版が良いと思う。
委員	・気づきから作品制作をしてみようと思うことは、図画工作では大切だと思う。日本文教出版の教科書がよいと思う。
議長	・図画工作については、委員全員の一致により日本文教出版に決定でよろしいか。
委員	・異議なし。

- 議 長 ・ 家庭科について、意見はあるか。
- 委 員 ・ 東京書籍の教科書は、内容が整理されていると感じた。子どもたちが学校で学んだことが、家庭で生きてくると思った。開隆堂は、ページが分かれて載っているところがいくつかあり、なぜ情報を分断させてしまっているのかと疑問をもった。
- 委 員 ・ 計画から作り込んでいくところが充実しており、東京書籍の教科書が良いと思った。
- 委 員 ・ 開隆堂の説明の中で、QR コードの資料を使うときに、見たいところをピックアップして見られる良さを感じた。「ゆでる」の学習など、調理の基礎にかなり力を入れていると感じたので、開隆堂が良いと思う。
- 委 員 ・ 調理など生活に密着している項目からスタートしている点が現実的で良いと思った。また、QR コードの写真資料が光に反射せずきちんと見られるとの報告もあったので、開隆堂がよいと思う。
- 議 長 ・ これまでの協議を踏まえ、投票を行う。
- 議 長 ・ 投票結果を発表する。東京書籍 3 票、開隆堂 9 票。
- 議 長 ・ 家庭科については、投票の結果、開隆堂に決定でよろしいか。
- 委 員 ・ 異議なし。
- 議 長 ・ 保健について、意見はあるか。
- 委 員 ・ QR コードの内容が非常に充実していると思うので、東京書籍がよいと思う。
- 委 員 ・ 大修館書店が一番分かりやすいと感じた。ただ、QR コードの説明が東京書籍は充実していたと思った。きちんとそれらを生かして授業をされるのであれば、東京書籍がよいと思う。
- 委 員 ・ 光文書院は、インターネットに関して、もしも被害にあったらどうするかを想定した内容が示されている。今まで通り、光文書院がよいと思う。
- 委 員 ・ 東京書籍にはワークシートがあるが、これがネックになるのではないかと思った。身近な内容を沢山取り上げている光文書院がよいと思う。
- 委 員 ・ 記述をして終わりという体育の授業はしたくない。光文書院がよいと考える。
- 議 長 ・ これまでの協議を踏まえ、投票を行う。
- 議 長 ・ 投票結果を発表する。東京書籍 3 票、光文書院 9 票。

議長	・保健については、投票の結果、光文書院に決定でよろしいか。
委員	・異議なし。
議長	・外国語について、意見はあるか。
委員	・中学校では開隆堂を使っている。小学校も開隆堂がよいと思う。
委員	・中学校とのつながりを考えると、授業の展開の面からも開隆堂が良いと思う。
委員	・三省堂は分かりやすくよいと思う。開隆堂は少し難しいのかなと感じる。
委員	・現在の教科書と英語の授業をうまく調合しながら進めており、今までと同じ教科書が良いという意見も出ている。
委員	・教科書を開いたときに負担感が少なく、英語への興味がもてるような工夫をしていると感じるので、三省堂が良いと思う。
議長	・これまでの協議を踏まえ、投票を行う。
議長	・投票結果を発表する。開隆堂4票、三省堂8票。
議長	・外国語については、投票の結果、三省堂に決定でよろしいか。
委員	・異議なし。
議長	・道徳について、意見はあるか。
委員	・東京書籍が一番分かりやすいと感じる。文章が流れていて、分かりやすく説明されている。先生方にとっても、子どもたちにとってもよいと思う。
委員	・前回の採択時には、道徳の教科化に伴って、道徳ノートの付いている日本文教出版を採択した。調査員会の報告を見ると、おおむね使いやすく、ノートがついていることも高評価であった。これからの社会に求められる力をつけられる教科書であると思う。日本文教出版がよいと思う。
委員	・日本文教出版の教科書は、イラスト中心で自分なりのイメージを膨らませてそれを基にみんなで話し合う活動ができるようになっていると思う。イラストと文字のバランスが良く取れていると思った。
委員	・東京書籍は、読み物としてよいと思う。日本文教出版は、道徳ノートがあることで、書かなくてはならないと子どもが感じてしまうのではないか。道徳なので、いろんな意見を発することの方が大事だと思う。
委員	・東京書籍か光村図書で迷っている。東京書籍には QR コードがついてい

るのがよいと思う。

- 委員
- ・日本文教出版の道徳ノートについて、現場の先生方は気軽に使っているように思う。また、子どもたちの負担になっているという感じにもなっていない。考え議論する道徳にとって、反応はマイナスなものではないと思う。
- 議長
- ・これまでの協議を踏まえ、投票を行う。
- 議長
- ・投票結果を発表する。東京書籍3票、日本文教出版9票。
- 議長
- ・道徳については、投票の結果、日本文教出版に決定でよろしいか。

(4) 原案の確認

- 議長
- ・第六採択地区における小学校用教科用図書採択の原案を確認する。
国語は光村図書出版、書写は光村図書出版、社会は東京書籍、地図は帝国書院、算数は東京書籍、理科は教育出版、生活は東京書籍、音楽は教育芸術社、図画工作は日本文教出版、家庭は開隆堂出版、保健は光文書院、外国語は三省堂、道徳は日本文教出版ということで、以上、案として決定してよろしいか。
- 委員
- ・異議なし。
- 議長
- ・義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律の第十三条5項に、「当該採択地区内の市町村の教育委員会は、協議の結果を基に、種目ごとに同一の教科用図書を採択しなければならない。」となっている。
本日の協議の結果に基づき、各市教育委員会での採択をお願いする。
これにより、議長の任を解かせていただく。

5 挨拶（第六採択地区協議会副会長・志木市教育委員会教育長）

- 副会長
- ・時間にわたって協議をいただいた。今日の会議が、会長をはじめ、参会者の皆様方の協力により、無事終わられることに感謝している。
 - ・今回の協議会を通じて、それぞれの市の教科書採択事務が円滑に進むことを望む。皆様には、今後とも、より一層のご支援、ご協力をお願いしたい。

6 閉会

- 司会
- ・事務局から連絡する。
- 事務局
- ・各市教育委員会で議決した時点で、事務局（新座市教育委員会）に報告願

う。構成2市において第六採択地区の案を議決し、教科書が採択された際には、事務局から連絡する。

- ・需要数報告のために、学校へ採択結果を周知する期日については、採択が決定する7月28日以降になる。

司 会

- ・以上により、第2回第六採択地区協議会を閉会する。